

ヲ充填スルカ故ニ其徵候ハ全腹腔ヲ充填スル多量ノ腹水ニ
 甚ク類似シ臆ヨリ之ヲ検査スルモ子宮ハ兩症共ニ下低シテ
 之ヲ區別スベキ確徵ナシハンベルグ氏ノ說ニ據レハ此ノ
 如キ症ニ於テハ腸骨ト第十二肋骨ノ間ノ部ヲ注意スベシト
 云フ何トナレバ此部ハ極テ強大ナル卵巢水腫ニ於テスラ通
 例結腸ノ鼓音ヲ發スレハ腹水ニ於テハ然ラザレハナリ然レ
 ハ同氏ハ尙ホ此徵候モ亦屢確實ナラサル者ナリト云ヘリ腹
 部ハ甚シク増大シ下肢ノ腫脹ハ歎如スルカ或ハ只僅少ナレ
 ハ婦人ニ於テハ常ニ先ツ卵巢水腫ヲ思考スヘキ者トス
 腹水ノ存在ヲ確定シタル后進シテ其原因ヲ搜索スルヲ以テ
 尤モ貴要ナリトス前條己ニ全身水腫ノ局處症狀タル腹水ハ
 水腫ノ最先發徵候ナラサルヲ論述セリ故ニ浮腫ヲ呈セサル
 人ニ於テ腹水ヲ發スレハ則チ其腹水ハ或ハ門脈系統ノ鬱血

或ハ腹膜自家ノ疾患ニ關スル者ナリ然レハ此腹水ノ原因ハ
 門脈系統ノ鬱血ナルカ將タ腹膜ノ疾患ナルカヲ鑒定スルハ
 屢容易ナラズトス概シテ之ヲ論スレハ同時ニ門脈ノ他ノ根
 部ニ於テ鬱血症狀ヲ發シ並ヒニ肝機能ノ障害セラレタル徵
 候及ヒ肝形狀ノ變化ヲ呈スル者ハ第一種ニ屬シ消瘦甚ダシ
 シシテ他臟器ニ於テ癌腫若クハ乾酪化アルヲ證明シ又腹腔
 ニ腫瘍ヲ發スル者ハ第二種ニ屬ス又此類症鑒識ニ於テハ尿
 色ニ注目スベシ總テ腹水ヲ來ス肝患ニ於テハ尿中ニ胆汁色
 素ノ痕跡ヲ含蓄スルモノ頗ル多シト雖モ腹膜ノ變質ニ於テ
 ハ之ニ反シ全ク常色ヲ呈ス

預后腹水ヲ發スレバ其ノ預后ハ一般ニ不良ナル者ト視做ス
 ベシ下肢ノ浮腫ハ主ニ危重ナル疾患ニ關スルカ故ニ俗人ノ
 足踝浮腫ヲ恐怖スルハ實ニ理由アリト謂ハサルヲ得サルカ

故ニ腹水ハ預後上ニ一層危險ナル關係ヲ有ス何トナレハ腹腔ノ水腫性滲漏物ハ足踝浮腫ヨリモ其發スルヤ遅クシテ且少起リ易スカラス隨テ其原因病ノ増進スルヤト知ス可ケレハナリ腹水ノ預後ヲトスルニ當リ總テ他ノ水腫ニ於ケル如ク先ツ其原因病ヲ知ラスノハアル可ラサルハ言テ俟スシテ明カナリ此原因病例之單純水血病若クハ急性武雷篤病ノ如ク治癒スベキ者ナレハ其原因病ヲ排除スレバ腹水ハ尤モ容易ニ且ツ早ク吸収ニ歸スベシ加之原因病ノ驅除ス可ラサル者ニ於テモ適當ナル療法ヲ施セバ一時腹水ヲ排却ス可キアリ腹水ノ直接ニ來ス危險ハ胸腔ヲ甚ク狹窄スルニ在リ故ニ患者若シ呼吸促進ヲ始ムレハ腹水ヲ排泄シテ呼吸無力ヲ預防スル時期ナリト思考スベシ腹水ニ下肢及ヒ陰囊ノ劇甚ナル腫脹ヲ兼タル患者ニシテ殊ニ醫士ノ十分ナル監視

ヲ欲ク者ハ尙ホ他ノ危險ニ罹ルコアリ即チ此ノ如キ患者ニ於テ表皮ノ破裂或ハ單純ナル痒搔ニ由テ下肢ニ於テ發スル輕々ノ皮膚剝脫ハ漸ク増加シテ強劇ナル皮炎ヲ發シ次テ瘰疽ニ陥リ之ニ由テ死ヲ致ス者ナリ

療法根治法ニ就テ之ヲ論スルニ腹水若シ全身水腫ノ局處症

狀ナルカ或ハ大靜脈血液ノ流出妨礙ニ關スルキニハ心臟病若クハ肺病ノ治療ヲ行フヲ要ス腹水若シ高度ノ水血症ヨリ起ルキニハ其原因病ニ適當ナル治療ヲ施シ殊ニ血液混合ノ改良ヲ計ルベシ間歇熱、單純貧血或ハ危重ナル疾患ノ恢復期ニ於テ發スル水腫ニ於テ鎮、幾那、滋養品、葡萄酒若クハ麥酒ヲ投シ佳良ナル大氣中ニ生活セシムレハ尤モ良効ヲ奏スベシ又壓迫セラレ若クハ閉鎖セラレタル門脈或ハ大靜脈ヲ再ヒ通利スルコト克ハス又萎縮ノ脈管ヲ壓搾スル肝實質ヲ再ヒ延

長スルヲ克ハズ又結核或ハ癌ニ由テ發シタル腹水ニ於テハ根治法ヲ施スヲ克ハズ

疾患療法ニ就テ之ヲ論スルニ腹腔ニ積堆シタル水液ハ吸収力ヲ催進シ或ハ一定ノ症ニ於テ手術ヲ施コシテ排泄スルヲ要ス利尿劑中利尿劑尤モ効アリ利尿劑中實斐多利私尤モ適切ス然レトモ實斐多利私ハ心臟ノ器質疾患慢性氣管支炎及ヒ肺氣腫ニシテ右心ノ續發的擴張及ヒ微力ヲ兼タル者ニ於ケル如ク心力ノ衰弱ニ起因スル水腫ニ於テ尤モ偉効ヲ奏スレモ單純水血性水腫ニ於テハ利尿ノ効用甚タ分明ナラズ水腫若シ門脈閉塞ノ結果ナルキニハ利尿劑ヲ投スルモ決シテ効ヲ奏セス例之股靜脈ノ血栓ニ於テ利尿劑ヲ投シ下肢ノ浮腫ヲ去ラント欲スルカ如キ之レナリ而シテ利尿劑ヲ用フルニ當リ他ノ利尿劑ヲ實斐多利私ニ代用スルカ或ハ之ト共ニ使

川ス即チ醋酸加里、孕礪酒石、枸橼汁、セルテル水及ヒ之ニ類似ノ曹達水、其他刺戟性利尿劑例之海葱根、杜松子、益智及ヒ利尿劑等ナリ然レモ此刺戟性利尿劑ハ次急性或ハ急性腎臟炎ヲ兼タル水腫ニ於テハ決シテ用フ可ラズ實斐多利私葉一〇乃至二〇及ヒ海葱一〇ヲ以テ一五〇〇ノ浸劑トナシ更ニ醋酸加里水及ヒ杜松子舍利別各二五〇ヲ加ヒ毎二時一食ヒヲ服サシム實斐多利私及ヒ刺戟性利尿劑ハ同時ニ消化器ヲ損害シ又一分ハ腎及ヒ心機能ヲ害スルカ故ニ克ク患者ヲ監視シ時々其ノ服用ヲ停止スベシ
利尿劑ノ効ヲ奏セサル症ニ於テハ峻下劑ヲ試用スルヲ常トス峻下劑ノ門脈閉塞ニ起因スル腹水ニ効アルベキハ容易ニ了解スベシ何トナレハ下利ハ門脈根部ノ排泄ヲ作為シ脈管ノ側壓即チ腹水ノ原因ヲ減少スレハナリ而シテ峻下劑中尤モ

峻烈ナル者ヲ選川スルヲ常トス驅水劑トシテ尤モ名聲アル
 許多ノ合劑中茲ニ記載ス可キハ只ハイム氏丸ノミ其法ハ藤
 黃實芩多利私葉海葱根金硫黃地榆越幾斯各一五ヲ取リ六十
 九ヲ作り毎日三回二粒乃至三粒ヲ服サシム然レハ峻下劑ハ
 屢頑固ナル腸加苔兒ヲ起シ鎮靜ス可ラサル下利ヲ來シ患者
 ノ死期ヲ誘起スル恐レアルカ故ニ尤モ注意スルヲ要ス又水
 腫ノ發汗療法ハ武雷土病ノ條下ヲ參考スベシ又水腫益ス進
 行スルハニ當タリ剛鍼針或ハランゼットヲ以テ浮腫シタル下
 肢ニ輕易ノ刺創ヲ作り水液ノ排泄ヲ計レハ体腔ニ積堆スル
 水液ノ量ヲ大ニ減少シテ患者ヲ輕快セシムヘシ然レハ此輕
 易ナル手術モ亦屢其創痕ヨリ至下肢ニ蔓延スル皮炎ヲ來シ
 熱發シ終ニ壞疽ヲ發シテ死ヲ致スニアリ腹水胸水或ハ心囊
 水腫ニ於テ下肢ニ刺創ヲ作為シ水液ヲ排除セント欲セハ克

ク其ノ創痕ヲ清潔ニシテ腐敗ヲ預防セサル可ラズ又穿腹術
 ハ近世ニ至リ通例臍ノ下方白線内ニ於テ之ヲ施ス者ニシテ
 常ニ危險ナキ手術ナリ穿腹術ノ危險ハ僅少ニシテ其効力ハ
 確實ナレハ其結果ニ至テハ大ニ思慮スベキ者ニシテ決シテ腹
 腔ヨリ水ヲ排除スルニ非ス却テ蛋白質溶液ヲ排除スルヲ忘
 ル可ラズ而シテ腹水ヲ排除スルニ從ヒ之ヨリ先キ腹膜ノ毛
 細管ヲ壓迫シテ血溶滲漏ヲ妨碍スル壓ハ一時ニ減少スルカ故
 ニ再ヒ血清ノ滲漏ヲ増劇シ穿腹術ヲ施スノ后太々速カニ衰
 弱スルヲアリ以上論スル處ニ據レハ穿腹術ハ只呼吸促進或
 ハ皮膚炎及ヒ壞疽ノ徵ヲ呈シ坐視シ難キ險症ニ於テノミ之
 ヲ施スベシ患者衰弱極テ甚タシク爲メニ穿腹術ヲ施ス可ラ
 サルホニハ總テ飲料ヲ制限シ以テ滲漏物ノ増加ヲ禦クベシ

三 腹膜結核及腹膜癌

腹膜結核ノ特發スルハ例外ニシテ肺或ハ腸間膜腺ノ結核若クハ此臟器ノ乾酪性產物ヲ兼タル炎或ハ泌尿器及ヒ生殖器ノ結核ニ續發スルヲ多シトス又他ノ症ニ於テ腹膜結核ハ急性粟粒結核ノ局處症狀ナリ然レモ腹膜ノ組織中ニ沈着シタル數多ノ小結節ハ徵候ヲ發セズ且ツ急性粟粒結核ノ經過ニ證明スベキ感作ヲ及ボサ、ルカ故ニ此症ハ腹膜結核ニ算入セズ結核性腸潰瘍ノ上方ニ占居スル腸漿液膜ハ肥厚シテ僅少ノ白色小結節ヲ含蓄スルヲアレモ是レ組織病理解剖上ニ緊要ニシテ病床上ニハ須要ナラス所謂真正ノ腹膜結核ハ其數饒多ナル灰白色ノ結核ニシテ罕レニハ全腹膜ニ散在ス結核形成ハ其他同時ニ存在スル炎性病機ノ結果タル變化ヲ合併ス即チ腹膜ハ慢性充血及ヒ血液滲漏ヲ呈シ終ニ暗黒色トナル又肥厚シテ帶狀ノ癒着ヲ形成シ新生結締織ハ萎縮シテ

網ハ横行ノ一橫杆トナル其他大抵腹腔ニ饒多ノ漿液性乳漿樣膿性或ハ血性滲出物ヲ生ズ此疾患久シク持長スレバ結核ハ乾燥ノ硬韌トナリ或ハ軟化シテ乾酪樣トナル
 体力減衰顔貌羸脫程度ノ發等不定ノ症狀ト共ニ腹膜結核ニ於テハ漸々ニ多少分明ナル一定ノ局處症狀ヲ發シ以テ鑒識ノ據点トナル其局處症狀ハ腹壁ノ按壓ニ由テ發スル疼痛或ハ知覺過敏ナリ又時トシテ痙痛下利惡心嘔吐ヲ發シ多少ハ滲漏物ヲ生シテ腹部膨滿シ腹水ノ性状ヲ呈ス萎縮シタル網ハ臍上部ニ橫走スル索狀ヲ形成シテ表面ヨリ之ヲ觸知スベシ且ツ他ノ臟器ニ於テ結核竈或ハ乾酪竈ヲ證明スベキニ至リ鑒識始メテ確實ナリ臍圍ニ炎ヲ發シ罕レニハ穿孔シテ腹水ヲ排漏スルヲアリワルリン氏ハ之ヲ記載シテ腹膜結核ノ特異症狀トナセリ又此疾ノ經過ハ通例數月ニ渉ル者ニ

シテ屢熱、下利及ヒ腹水ノ緩解ヲ呈ス然レモ罕レニ治癒ニ轉
 歸スル症アリト云フ説アレモ未タ確實ナラズ其療法ニ至テ
 ハ滋養品及ヒ健康ナル大氣ニ兼テ肝油、鎮劑、沃土、鉄及ヒ規尼
 涅ヲ選用シ温浴或ハ熱浴ヲ命スベシ下利及ヒ痲痛ノ癖アラ
 ハ阿片或ハ止下瀉腸ヲ要ス腹水アラハ發汗劑或ハ利尿劑ヲ
 試用シ只窒息ノ危險アル症ニ於テノミ穿腹術ヲ施スベシ
 腹膜癌モ亦極メテ罕レニ特發スル一患ニシテ通例近隣ノ臟
 器例之肝、胃、腸、子宮、卵巢、腹膜后腔腺或ハ他ノ腹腔腺ヨリ腹膜
 ニ傳播ス硬癌及ヒ髓樣癌ハ通例結節狀ヲ呈シ或ハ散在シテ
 許大ノ腫瘍ヲ形成シ或ハ全腹膜ニ蔓延スル無數ノ小結節ヲ
 形成ス其小結節ハ多クハ結核ヨリモ大ナリ然レモ此小結節
 罕レニ極メテ細微ニシテ殆ト腹膜結核ニ類似スル狀況ヲ呈
 スルコトアリ殊ニ結核ニ於テ發スル腹膜ノ炎性變化、腸ノ癒着、

網ノ索狀萎縮、腹腔ノ滲漏物モ亦多少腹膜癌ニ於テ發スルカ
 故ニ其區別愈分明ナラス腹膜癌ノ爲メニ腹膜ノ扁平ニシテ
 數分許厚キ硬結ヲ形成スルハ罕レナリ蜂巢狀癌ハ罕レニ許
 大ナル腫瘍ヲ形成ス此癌腫ハ通例網ニ占居スル者ニシテ同
 時ニ他ノ臟器及ヒ腹壁腹膜ニ膠狀癌存在ス
 腹膜癌ノ尤モ著明ナル徵候ハ腹腔ノ滲漏物ニ起因スル腹部
 ノ膨滿ナリ試ミニ腹部ヲ按スレバ知覺極メテ過敏ニシテ患
 者速カニ消削シ且ツ腹腔滲漏物ノ他原因ナキモ於テノミ
 腹膜ノ癌性變質ナリト思考スベシ腹腔ニ於テ腫瘍塊ヲ證明
 シ且ツ其腫瘍ハ他種ノ腫瘍ニ非サルヲ卜定スベキモ於テ
 始メテ鑒識シ得ベシ而シテ他ノ臟器ニ於テ特發癌ヲ證明ス
 レハ此ノ鑒識益ス確實ナリ此疾腹膜ノ結核ニ反シ主ニ高齡
 ノ人ニ發シ通例半年乃至二年間ニ死ヲ致ス者ナリ

同 七十四	同 七十六	同 七十七	同 八十一	同 八十三	同 八十四	同 八十五	同 八十六	同 八十七	同 八十七
七 十二	七 十三	七 十六	四 七	五 四	五 三	九 三	七 九	二 同	九 同
壤 ニ リ	壤 ヨ リ	區 劃 内 硝 酸 銀 水	多 シ ハ	加 答 食 道 炎	多 シ ハ	多 シ ハ	多 シ ハ	多 シ ハ	多 シ ハ
diaryphthitisi- die syphilitisc- hen Affection	diaryphthitisc- hen Affection								
同 五十八	同 五十九	同 六十	同 六十一	同 六十二	同 六十三	同 六十四	同 六十五	同 六十六	同 六十六
五 七	四 六	九 前	四 十	四 十	十 二	十 三	八 五	九 及	九 五
輕 疹	依 ト	五 硝 酸 水	Puchen	注 目 ン	加 答 兒	發 秘	起 セ ハ	治 製	寔 素 因 ニ
同 六十八	同 六十九	同 七十	同 七十	同 七十	同 七十	同 七十	同 七十	同 七十	同 七十
發 瘡	疾 依 ト	五 十 九 硝 酸 銀 水	Rachen	注 目 シ	格 魯 弗	發 性	起 サ ハ	冷 精	寔 素 因 ノ
同 七十八	同 七十九	同 八十	同 八十	同 八十	同 八十	同 八十	同 八十	同 八十	同 八十
上 ノ 物	眼 水 腫	温 テ	温 テ	温 テ	温 テ	温 テ	温 テ	温 テ	温 テ
同 八十八	同 八十九	同 九十	同 九十	同 九十	同 九十	同 九十	同 九十	同 九十	同 九十
惱 ヨ リ	眠 門 水 腫	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ
同 九十八	同 九十九	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百
左 ア リ	消 息 子	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス	モ ノ ニ 非 ス
同 九十八	同 九十九	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百
性 延 性 癌 浸	消 息 子	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ
同 九十八	同 九十九	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百
右 ニ リ	消 息 子	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ
同 九十八	同 九十九	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百
腦 ス ル	消 息 子	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ
同 九十八	同 九十九	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百
感 傳 電	感 傳 電	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ
同 九十八	同 九十九	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百	同 一百
感 傳 電	感 傳 電	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ	ナ レ レ

百十四	十三	腹腔ノ	肚腹ノ	百五十九	十三	ク	キ
百十五	八	此腹腔ノ	此肚腹ノ	百六十五	五	斷行	連行
百十八	六	上靜脈	上大靜脈	百六十六	九	行ニ續ク	ベルゲル
百二十	二	部	衍字	同	十二	蓋	蓋
百二十一	十三	戒	械	同	十三	胃	胃
百二十三	一	慢性中毒	慢性鉛中毒	百六十八	六	ス可シ	スルモ可ナ
同	七	腸筋	腹筋	百七十三	九	形無	無色
百二十四	九	大動脈	ノ蜂窠織	百七十六	十二	吐物	吐出
百二十七	八	少ナ	衍字	同	二	ハ或	ロイダン
百三十二	一	頂	少ナカ	百八十三	十三	氏	或ハ
百三十六	六	血水狀	須	同	一及	製	衍字
百四十七	十一	ノコリ	水血狀	百八十五	五	婦人	制
同	十三	Cardialgie	ノコリ	百八十九	十三	格	婦人ニ
百四十八	三及	Cardialgie	藥	同	一	末	覺
百五十三	九	既症	既往症	百九十七	六	明禁ノ下	未
百五十八	九	既症	既往症	同	十一	明禁ノ下	未

四

同	同	鉛糖ノ下	〇、〇、一乃至〇、	二百二十九	四	サル、	サ、ル、
同	同	鉄液ノ下	〇、〇、一乃至〇、	二百二十九	十二	助	助
二百四	九	腸出	腸出血	二百四十一	十二	加	下
二百五	七	起	起	二百四十二	十二	要	誘
二百七	三	下血	下血	二百五十一	四	密	蜜
同	十	肺	肝	二百五十五	五	鼓	鼓
二百十三	十二	血ノ上	鬱字ヲ脱ス	同	七	發	發
同	同	乳精	乳清	二百五十六	十三	覺	ア
二百十五	七	化	比	二百五十七	一	發	ヲ
二百二十	十	通スル	通過スル	二百五十八	六	急	汎
同	十一	瓦刺	瓦斯	二百六十五	六	急	奈
二百二十二	三	織	織	二百六十五	七	急	急
同	十二	二百二十三	二百六十六	二百六十六	九	急	急
二百二十五	丁數	二百二十五	二百六十七	二百六十七	四	急	急
二百二十七	三	劇	二百六十九	二百六十九	十	急	急
二百二十八	二	劇	二百七十三	二百七十三	一	急	急

五

二百七十五	二	アリ	ナリ	三百二十四	八	香藥	藥香
二百八十二	四	小兒醫ハ	小兒醫	三百二十九	九	一	衍字
二百八十五	一	少ナク	少シク	三百三十	三	學	學
二百八十六	十二	焔麻	焔性麻	三百三十三	五	嚙	粥
二百九十六	十	而	而シ	三百三十八	七	Magenenge- schwir	Mageneschwir
同	同	唯血ヨリ	唯鬱血ヨリ	同	十	ウエーホール	ウエイール
二百九十八	二	鬱來ル	來ル	三百四十	十	フラメス	フライス
同	同	起シ	起シ	三百四十三	一	頗ル	衍字
三百	十一	由	由リ	三百四十八	三	飲食ノ上	必シモノ三
同	十一	驅吐	嘔吐	三百五十二	一	流動	字チ脱ス
同	十三	Vomitus	Vomitus	三百五十四	一	加答兒	潰瘍
三百一	三	ロダイン	ローダン	三百五十五	八	痕	痕
同	四	雪片	雲片	三百五十六	四	細數	脈細數
三百九	一	セシメム	セシム	三百五十七	二	之フ	云フ
同	八	於ルカ	於ルカ如ク	三百五十八	四	近シテ	接近シテ
三百十一	七	セシ	セン	三百六十四	五	スル	スルモ
三百十七	十	適切ノ上	粘膜	三百六十五	十	許少	少許
三百十八	十二	粘液	粘膜				

六

三百七十	三	人民	人民	同	十二	此篇	〔此篇〕
三百七十	九	cancrioia	cancrioia	三百九十六	十三	容含物	含含物
三百七十一	六	粘	粘	四百三	四	層	層
同	十二	髓狀	髓樣	同	十	漿液性	粘液性
三百七十七	十二	クヲサ	ヲサ	四百四	七	モラレ	セラレ
三百七十九	三及	疼痛	嘔吐	同	九	窄	穿
同	四	於テハ	於テハ	四百五	七	分泌ノ	腸排泄物
三百八十	五	容含物	含含物	四百八	七	麻備亞	麻備涅失亞
三百八十四	三	成ル	或ル	四百九	二	起ヒ	起シ
同	三	ス起	起ス	同	四	廣汎チ	廣汎ナル
同	六	音	音	同	四	在スルニ	存スルトニ
三百八十四	九	季助ノ	季助弓ノ	四百十三	六	兒淫	淫兒
三百八十五	十三	腹シ	シ腹	四百十六	八	變或	變成
三百八十七	一	過	驗	四百十七	十三	シテノ下	ヲ脱ス
三百九十二	二	此藥ヲ	此藥チ	四百十八	七	形狀	形狀
同	二	侵	侵	四百二十	五	熱	熱
三百九十三	五	Entertis	Entertis	四百二十三	六	極メ	極メテ
九	九	Entertis	Entertis		五		

七

四百二十五	四百二十六	四百三十	同	四百三十一	四百三十二	同	四百三十五	四百三十七	四百五十二	四百五十三	四百五十六	同	四百五十八	四百五十九	同	四百六十二
十二	八	五	十二	九	九	十三	九	五	六	六	六	十一	十一	三	十	七
内服	漫	潰	潰	膜	治癒	Kochbrechen	ヲ	資	膨脹	腸重疊	腸重疊	上	窄狹	疑塊	積	顆
内服藥	浸	潰	潰	腹	治癒	Kochbrechen	=	質	肚腹膨脹	蠟	ヲ發ス其他ノ	五字ヲ廢ス	狹窄	疑塊	積	夥
四百六十三	四百六十五	四百六十八	四百六十九	四百七十四	四百七十五	四百七十七	四百八十	四百八十二	同	同	四百八十四	四百八十五	同	同	同	四百八十八
八	二	四	六	十	一	一	二	二	三	四	十二	一	五	十三	七	七
於テ	結核	=	潰	モシ	汁	上	崩壞	壞	peri typhiliti	peribrokititis	結締上行	結締上行	結締上行	結締上行	結締上行	處
於テ	結核	=	潰	モシ	汁	下	崩壞	壞	perityphilitis	periproktitis	結腸上行	結腸上行	結腸上行	結腸上行	結腸上行	處

四百九十	同	四百九十一	四百九十五	四百九十六	五百	五百	五百一	五百六	同	五百八	五百十	五百十一	五百十二	五百十四	同	五百十五
九	十一	五	十二	七	六	十	二	十三	同	三	三	六	三	八	九	五
多シハ	至リテ	粘膜結締	大腫瘍	大腫瘍	輪	格瑾篤	ニ	ニ	ニ	ニ	頭縲	綠	雌	豚	胃壁	命テ
多シ	至リテハ	粘膜下結締	大腫瘍	大腫瘍	論	格魯瑾篤	ニ	ニ	ニ	ニ	頭縲虫	綠	雄	符字	胃壁	命テ
五百十七	五百二十一	五百三十九	五百四十三	五百四十四	五百四十七	五百四十八	同	同	同	五百四十九	五百五十	五百五十二	五百五十四	五百五十五	同	五百五十六
十一	一	二	十一	九	十一	三	十	十二	十二	十二	十一	十一	五	一	十二	二
駁	排出ス	六篇	破膜	羅	羅	夫	共	誘ス	一般スル	志性	羅	僻	タ	腸化	物	シ
駁	排出サ	七篇	被膜	羅	羅	大	其	促ス	一般ナル	急性	羅	癖	タル	腸部	物	シ

五百六十九	七	極稀有	極メテ稀有	六百一	九	素	索
同	七	第五章	衍字				
五百六十九	十三	秘便	便秘				
五百七十二	八	之レ共	之レト共				
五百七十三	十三	左胆	左袒				
五百七十四	十三	ハ奪血法	奪血法ハ				
五百七十五	十一	不快	不快				
五百七十六	六	發胞	發泡				
五百七十九	五	腹水ノ上	二ノ字ヲ脱				
五百八十	九	水浮腫	水腫				
五百八十三	七	共	共ニ				
五百九十一	二十七及十三	卵巢	卵巢				
五百九十三	六	腫	癌腫				
五百九十五	十	ニ於テ發	ニ發ス				
五百九十八	七	肝	汗				
同	十三	壞疽	壞疽				
五百九十九	七	血液	血液				

明治十三年八月廿五日版權免許
同 十六年十一月一日出版

定價金貳圓十五錢

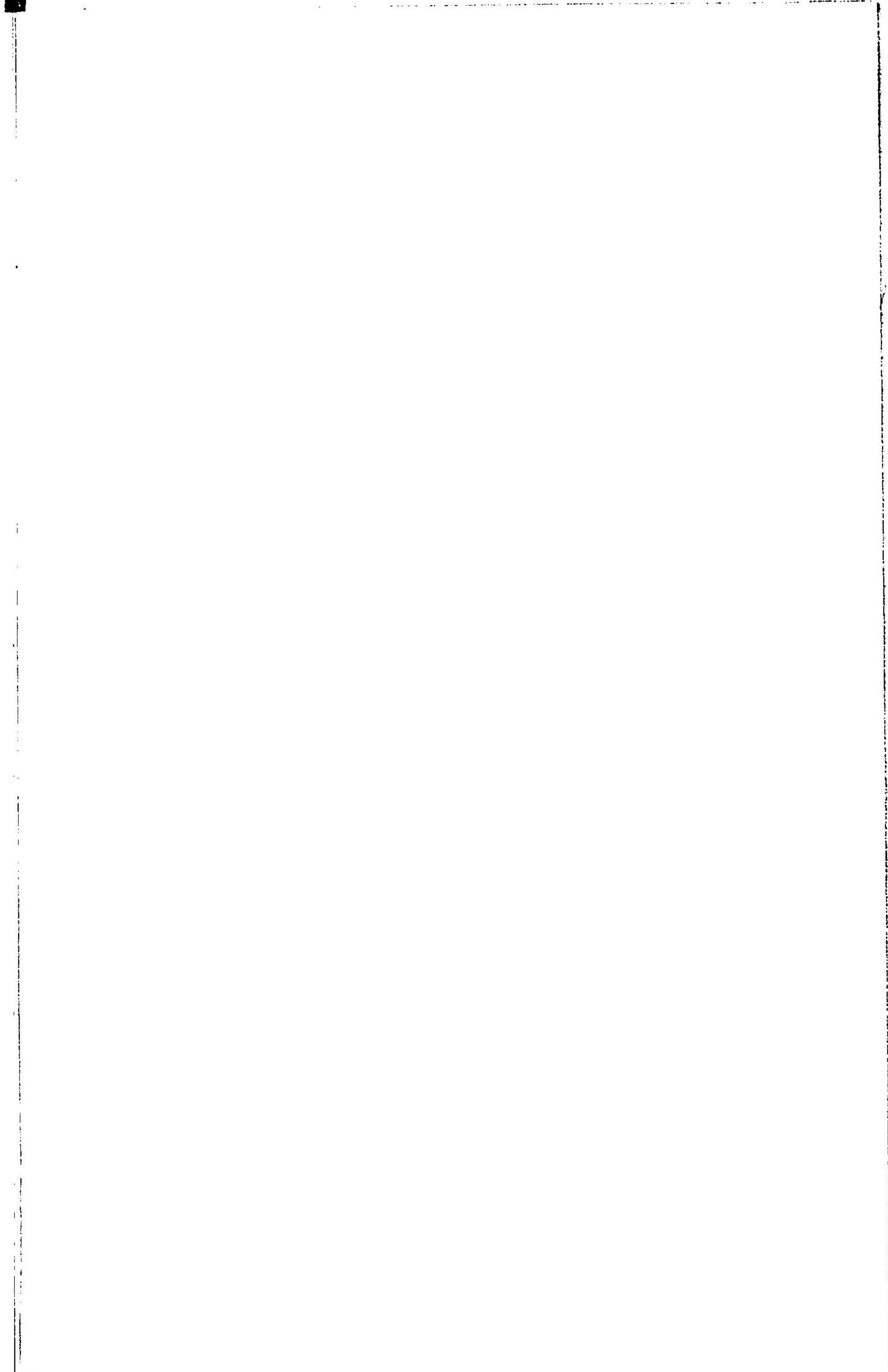
譯述并出版人

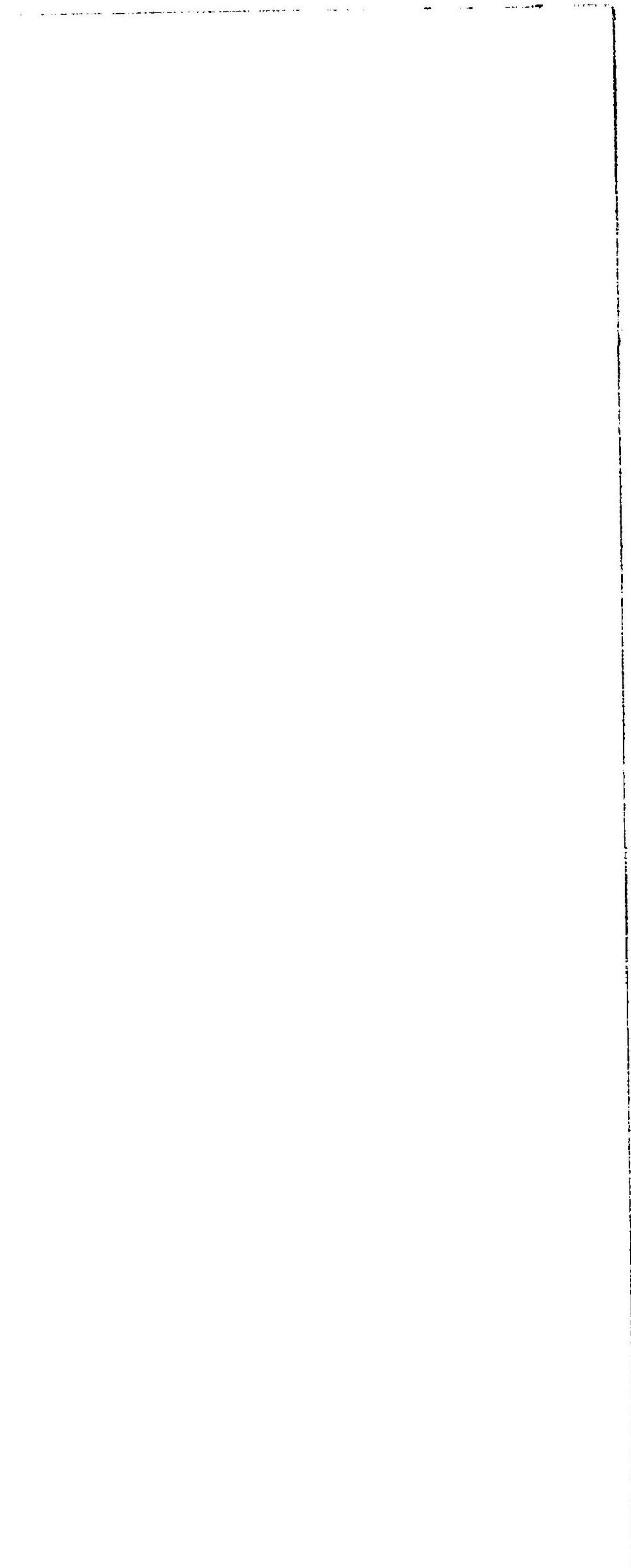
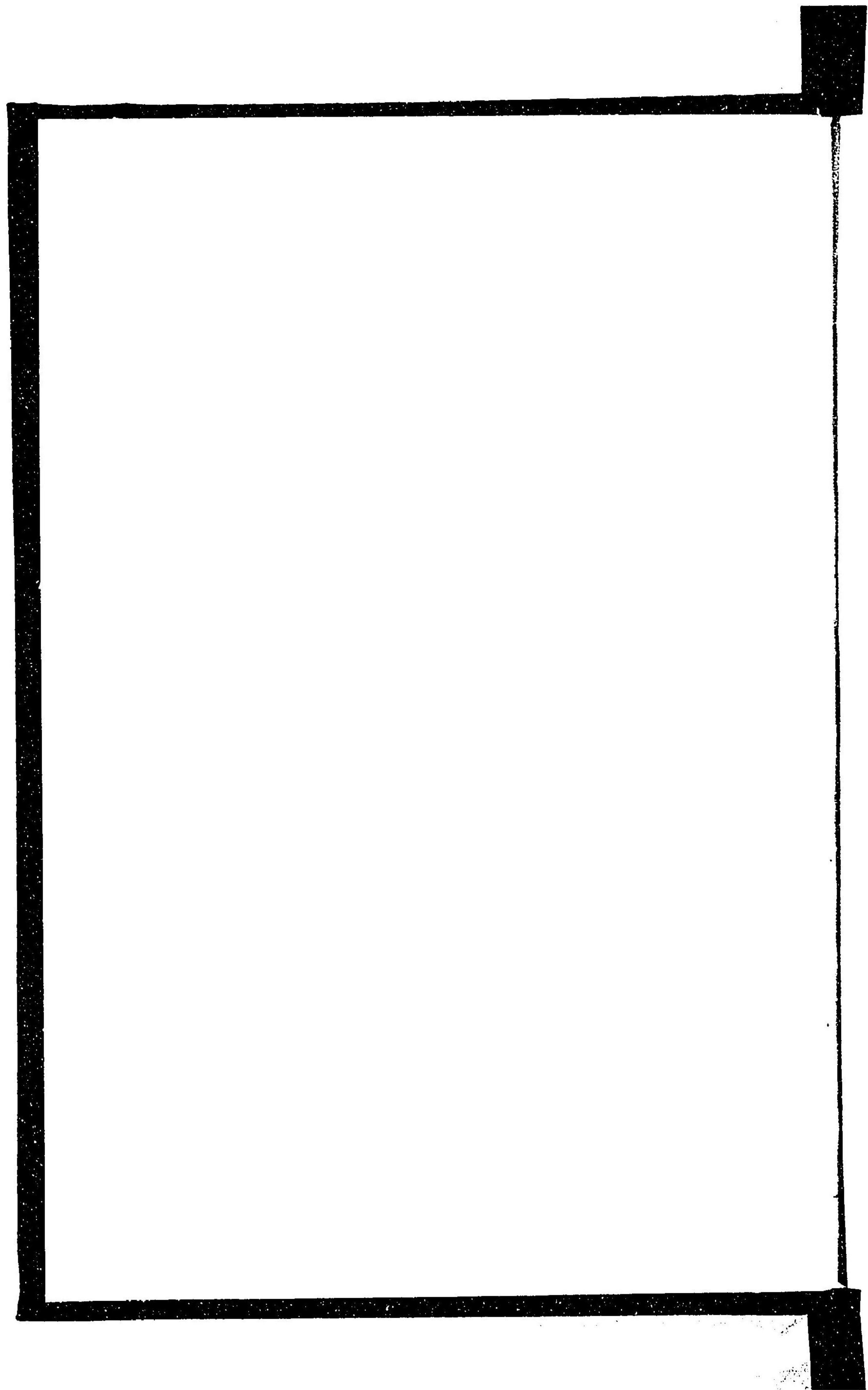
新潟縣士族
長谷川 泰
東京本郷區湯島四丁目八番地寄留

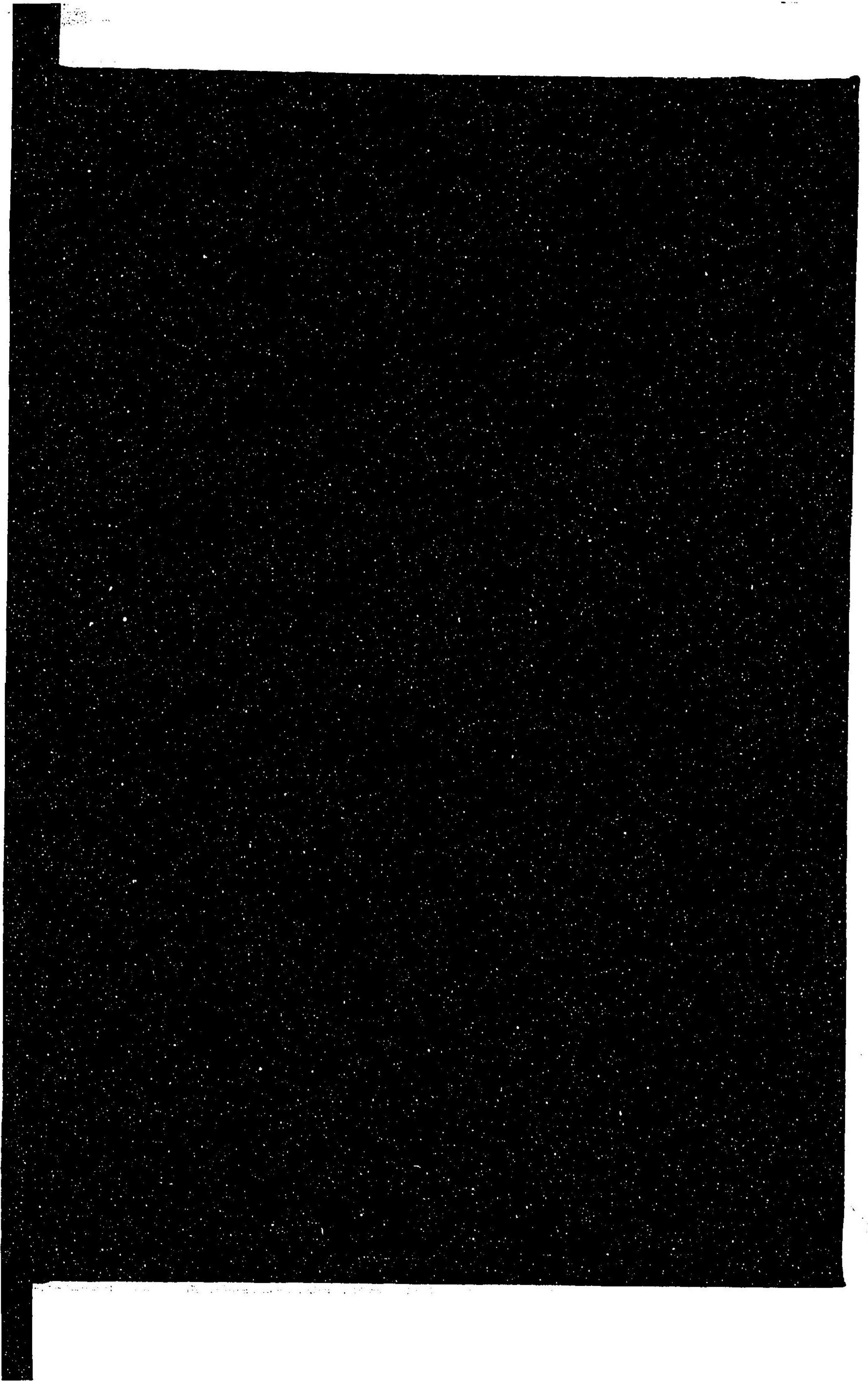
發兌書林

東京馬喰町二丁目 島村利助
同日本橋通三丁目 丸屋善七
同湯島四丁目 田村平策

2/2093







33
84

